



[ISO26000 / 6.5環境]
環境活動



紙媒体とデジタル媒体の融合を推進し、事業活動における環境負荷低減と限りある資源の有効活用に努めています。また、生物多様性および生態系の保護を含めた環境保全のため、原材料、省エネルギー、大気への排出、排水および廃棄物などについて、TMS(竹田マネジメントシステム)の活動として管理し、環境汚染の予防に努めています。

[マネジメントシステムの状況]

監査の状況



マネジメントシステムが適切に運用され、維持されていることを確認するため、「内部監査規定」を定め、定期的に内部監査を行っています。内部監査は原則として年2回行っていますが、重要な工程が変更となるなど、統括監査責任者(P.11 TMS組織体制図参照)が必要と認めた場合には臨時に実施することになっています。

また、内部監査員に対しては毎年1回研修会を実施し、監査基準の徹底とレベルアップを図っています。

内部監査の監査結果状況

2021年度の内部監査の結果、全社合わせて「不適合」1件と「観察事項」や「改善の機会」として147件の指摘がありました。すべて直ちに是正処置を取り対応しました。

内部監査の傾向としては、日常業務に沿った運用の確認が重要視されるとともに、指導的コメントが増えて改善向上型の活動になっています。

外部審査の審査結果状況

外部認証機関(インターテック・サーティフィケーション株式会社)による維持審査を行いました。

審査の結果、全社合わせて「特定された改善の機会」11件の指摘がありました。指摘いただいた項目には、様々な内容のものがありますが、審査員の言葉から読み取った指摘事項を含め、すべてに是正処置を取り改善しました。

全社員教育の状況



TMS(竹田マネジメントシステム)の効果的な運営を図るために、全社員に対して次のような教育を行っています。

マネジメントシステムに対する認識を向上させる教育とともに、コンプライアンスの意識を高めリスクを回避するための教育を行っています。

テキストでの教育の後、理解度テストを行うことで教育効果を確認し、「教育実施記録」を保持しています。

2021年度の
主な教育実施内容

- FSC®(CoC) 認証のしくみと当社の運用ルールの再確認
- テレワークにおけるセキュリティ
- TMS文書の理解
- 個人情報保護
- 電子メール受信時の注意点
- 環境問題の動向とSDGs
- ISO外部審査での指摘事項
- 職場におけるハラスメント
- サステナビリティ方針とSDGs

[環境保全の状況]

法規制の順守



竹田印刷では、環境に関する法規制を順守し環境汚染をできる限り少なくすることは企業の重要な責務との認識のもと、法的要求事項への対応実施・維持の状況を順守状況一覧表によりチェックし、順守の徹底を図っています。また、環境関連法令に従い、必要に応じて管理者を設置し、管理報告を行っています。2021年度における環境関連法令違反、環境問題を引き起こす事故・汚染、環境問題に関する苦情は発生していません。

INPUT	
原材料・副資材	
用紙	23,554t
インキ	291t
フィルム	1t
ガラス	10t
スクリーンメッシュ	6t
刷版	47t
溶剤・乳剤・処理剤	9t
PPC用紙	16t
梱包ラップ	6t
PPバンド	5t
水	
水道	29,021m ³
エネルギー	
購入電力	9,597千kWh
都市ガス	524千m ³
ガソリン	44kg

環境負荷の全体像
事業活動における2021年度の
資源投入と環境への排出



OUTPUT	
再生資源	
再生紙分類	2,299t
固形燃料化分類	15t
金属類	5t
使用済み刷版	39t
木くず	29t
埋立処理	
廃プラスチック類	31t
ガラス	0t
中和処理	
廃酸	16t
廃アルカリ	32t
焼却処理	
廃油	3t

取水によって著しい影響を受ける水源



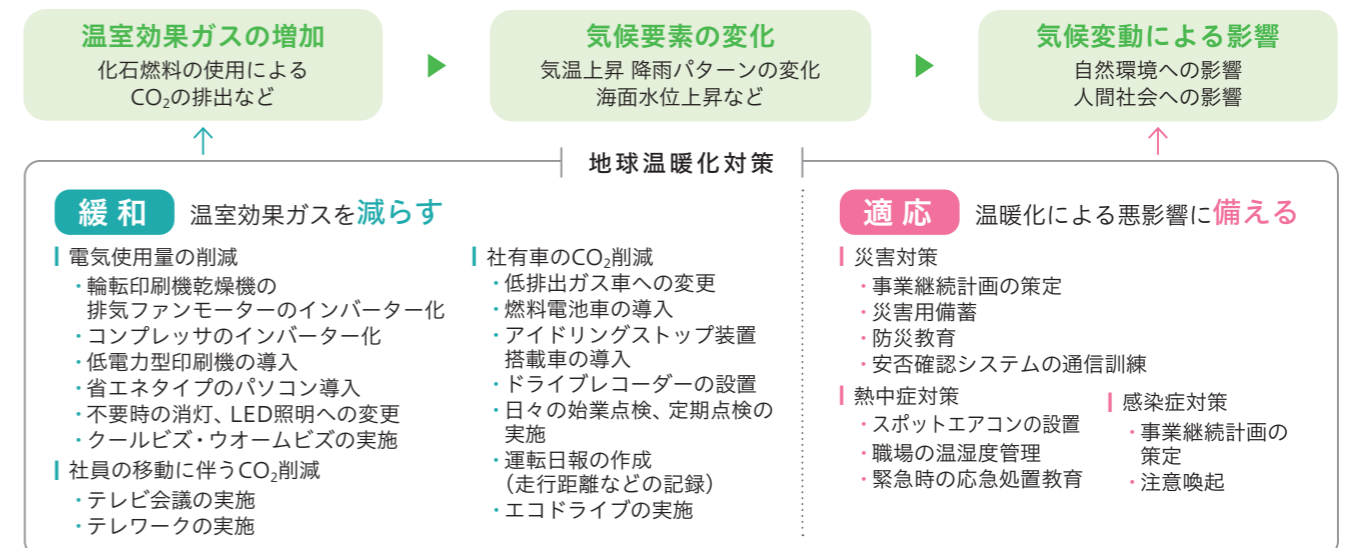
竹田印刷は、事業を行う上で必要な水をすべて「水道」から取水し使用しています。地下水の揚水はなく、当社の事業活動における取水によって著しい影響を受ける水源はありません。

気候危機への対応



地球温暖化は、気温を上昇させるだけでなく地球全体の気候を大きく変える「気候変動」を引き起こします。そして気候変動が要因となつての集中豪雨や異常な高温がもたらす多くの人的・物的被害は、日常生活に多大な影響をもたらす、その深刻さから近年は「気候危機」という言葉も使われるようになりました。そこで当社では、環境省が進める温暖

化対策に資するあらゆる“賢い選択”を促す国民運動「COOL CHOICE」の賛同企業として登録いたしました。今後は温暖化対策のひとつとして、さくらCoC・バナナペーパー等紙製ファイルやストーンペーパーのご提案、カーボンオフセットの推進やFSC認証紙の使用など、脱炭素社会づくりに貢献する取り組みを推進してまいります。



地球温暖化対策

地域の環境保全条例と政策への対応 3.9 7.3 11.6 12.4 13.1

竹田印刷は、各地方自治体の条例に基づき、地球温暖化対策に関する計画書などを作成し、各地方自治体に提出しています。

[環境保全活動の推進]

化学物質管理 3.9 12.4 14.3

竹田印刷は、環境マネジメントにおける化学物質などの管理に関し必要な事項を「化学物質リスクアセスメント規定」に定め、自主的な適正管理や安全性の高い代替物質への転換を促進するとともに、化学物質による危害防止、火災予防、労働災害の防止ならびに廃棄物の拡散防止に努めています。

工場排水処理策と測定状況 3.9 6.3 14.3

排水量に関しては測定していませんが、水質については、PH(水素イオン濃度)、BOD(生物化学的酸素要求量)、SS(浮遊物質質量)、金属含有量、有害物質などの項目を定期的に年2回測定し、法規制値より厳しい自主管理値を設定し徹底管理。管理値以内であることを確認した上で、下水道に排水しています。

騒音・振動の予防策と測定状況 3.9

騒音・振動を防止するために、印刷工場は建築設計の段階から二重壁・二重窓構造にし、内壁には吸音材を使用した防音対策を施しています。また、振動を防ぐ振動防止対策基礎設計の建築となっています。

騒音の測定記録については、時間率騒音レベルを求めた結果、全時間帯において規制基準値を下回りました。

緊急時への準備対応 3.9 11.6 12.4 14.1

事故・緊急事態に対する対策

竹田印刷では、事故・緊急事態の可能性として「火事・爆発・漏えい(大気・水系・土壌)など」を想定し、発生した場合の環境への重大な影響(大気汚染・水質汚濁・土壌汚染など)を防ぎ、迅速に対応・処置するために「不適合及び緊急事態対応訓練の様子」



訓練の様子

排出ガスの予防策と測定状況 3.9 11.6

大気汚染防止法のばい煙発生施設に該当しているオフセット輪転機の乾燥装置は、定期的に年2回の排出ガス測定を実施しており、法規制値より厳しい自主管理値を設定し徹底管理を行っています。

また、東京都環境局が推進する「Clear Sky サポーター」に登録し、大気環境の改善に向けた取り組みを進めています。



廃棄物の管理・運営 3.9 6.3 11.6 12.4 14.1

事業活動の中で発生する廃棄物を適正に処理するため「環境側面特定管理規定」を定めています。廃棄物は、それぞれ種類別に保管し、管理方法を決めています。特に特別管理産業廃棄物は、水質汚濁や土壌汚染を招かないように厳しく管理しています。



現地立ち入り調査

また、年に1回以上は、産業廃棄物処理業者への立入り調査を行い、廃棄物の処理が適正に行われているかどうかを目視により確認しています。

「環境側面特定管理規定」を定めています。その中で、予防・初期処置および対処に必要な設備・防災備品の設置のほか、連絡網の明示・模擬訓練の実施・発生時の基本行動などについて定めています。

2021年度事故・緊急事態

2021年度における重大な事故・緊急事態は発生していません。また、重大な漏出、有害廃棄物の輸送、事業活動での排水や表面流水によって影響を受ける水域はありません。

オンデマンド印刷の提案 12.5

通常のオフセット印刷は部数の多い印刷に適しているのに対し、オンデマンド印刷は少部数の印刷に適しています。そのため、過剰在庫により発生する廃棄のムダを削減することができます。また、オンデマンド印刷はオフセット印刷のような版が不要で、環境負荷の少ない印刷方式です。必要なものを、必要な時に、必要な数だけ、余分な印刷物を生産しないことで環境負荷の低減を図ります。



グリーン購入・グリーン調達 14.1 15.2 15.4

環境活動を効果的に行うために、原材料、副資材などの購入、設備機器の導入などの際には環境に与える影響を削減するように配慮しています。また、グリーン購入を推進することは、環境負荷の低減はもとより、社員が環境へ配慮した行動を行うきっかけとなっています。

FSC® CoC認証 15.2 15.4

Forest Stewardship Council®(森林管理協議会)

弊社はFSC® CoC認証を取得しています。

ライセンスコード:FSC-CO11109 認証コード:SCS-COC-004254 認証取得日:2004年8月12日

すべてがFSC®認証品ではありません。FSC製品についてはお問合せ下さい。

FSC®は、森とそこに暮らす人や生物を大切にすることをお手伝いをします。



責任ある森林管理のマーク

エシカルペーパーの提案 1.1 2.1 4.1 6.3 8.6 15.1 15.2 15.4

地球環境に配慮したエシカルペーパーを積極的に提案しています。その主なものに、海外で廃棄されているバナナの茎から繊維を取り出して作られるバナナペーパーや、製造に水を使わず廃棄時のCO₂発生量が少ない石を主原料とするストーンペーパー、間伐された日本の竹を100%用いた竹紙などがあります。

竹紙

里山を荒らすことから、いまや「竹害」とまで言われる竹。その竹を持続的に大量に使うことで社会的課題の解決を図ります。針葉樹パルプと広葉樹パルプの中間的性質をもつ竹パルプは、印刷用紙から産業用紙まで幅広く活用できます。紙色は竹らしさを感じさせてくれる「竹紙100ナチュラル」と、やわらかな質感の「竹紙100ホワイト」の2色。どちらも上品な存在感があり、環境問題や社会的意識の高い人々へ訴求します。本CSRレポートも、全ページ竹紙100ホワイトを使用しております。このようにできるだけ環境に負荷をかけない紙をお客様にお勧めし、お客様自身の環境負荷低減に寄与してまいります。

